



西会津小だより

2月号

No.11

【教育目標】

めあてをもって、やりぬく
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和3年 2月24(水)

文責：校長 博多弘泰

体験活動の充実

〔屋敷人形についての講話〕

本校では、地域連携協働本部事業を活用しながら、教科の学習・行事等に体験活動を積極的に取り入れています。令和元年度の実績としては年間30の体験活動(1～6年生の合計)でしたが、今年度は、コロナ禍の中、年間33の体験活動を行うことができました。西会津町の各地区へ出かけ、その地域の方から話を伺ったり、地域の方を講師として学校にお迎えしたりなど、子どもたちは多くの交流をすることができました。そのことによって、子どもたちの社会性や郷土愛などが育まれ、地域への理解・関心が深まり、さらに、学びがより豊かに広がりをもったと思います。令和3年度(次年度)も、地域の力を生かした体験活動を展開することで、子どもの主体的な学びや豊かな心の育成につなげていきたいと思っています。



こども園との連携



〔新入学児童体験入学〕



2月17日(水)に新入学児童体験入学(1年生と園児の交流)が行われました。園児に学校行事を紹介したり、生活科の学習のお店屋さん遊びで一緒に楽しんだ後、1年教室で実際に学習体験の手伝いをしました。具体的には、国語や算数のプリントへの記入の仕方やタブレットでのドリル学習について、親切丁寧に教えてあげることができました。1年生にとっては、年下の園児と交流することにより、同学年で行うときよりもあきらめず、手本を示そうと頑張る姿が見られました。この交流を通して、一回りも二回りも成長したと思います。

幼児期の教育(こども園における教育)と児童期の教育(小学校における教育)を円滑に接続することによって、小1プロブレムの解消につながります。次年度、園児の授業参観(1年生がどのように勉強

しているか)、生活科での交流、1年生から学校生活を教えてもらう活動、運動会練習や鼓笛練習の見学等を通しての交流について検討していきます。

雪に親しむ活動



「スキー教室」「ゆきんこ祭り」が中止になり、各学年では代替えとして、全員で何をするか話し合ったり、計画委員や係が中心になって企画したりしながら「雪に親しむ活動」を行うことができました。「子どもたちのために」ではなく「子どもたちが」(子どもたちが自ら考え行動する主体性を育む)という意味でも、大変貴重な経験になったと思います。また、西会津の自然を満喫し、雪に親しみ、友だちと十分にに関わり、楽しい時間を過ごすことができたと思います。

卒業証書授与式

教育課程を修了した事を祝う式典である卒業証書授与式が、3月23日(火)に行われます。今年度は、一面式(ステージに演壇を設け、全員がそこに向かい座る)の形態で行います。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4年生以上の参加とし、1～3年生は、各教室でケーブルテレビの放送を視聴するようにします。さらに、来賓は町長様、教育長様のみとします。

職員一同、卒業生にとって区切りと出発を意味する卒業証書授与式を心に残るものとするために準備を進めています。

